

NEWS 令和3年度 宮城県農山漁村集落体制づくり支援事業 中間合同研修会の開催

令和3年度 宮城県農山漁村集落体制づくり支援事業
かわらばん



参加していただいた地域の皆様
 (撮影時のみマスクを外しております)

令和3年8月7日(土)に、トークネットホール仙台にて、「中間合同研修会」を開催しました。地域の代表の方、関係者合わせて27名が集まり、各地域の現状やこれからの目標についてお話をいただきました。また、丸森町筆甫地区の吉澤さんにもご参加いただきました。事例紹介や地域づくりにおき、アドバイスをいただきました。

今回参加いただいた6地域 今年度の活動などについて



丸森町
大内青葉地区

昨年度に引き続き、後継者や移住者を増やすことを目的としたえごまの援農ボランティアを行う。また、様々な活動において地元の方々との連携を取っていきけるよう女子会なども開催していきたい。



丸森町
大張地区

昨年度に引き続き、美しい棚田の維持に向けた活動の推進として、写真コンテストを継続して行う。また、地域内の若者に魅力を知ってもらう活動として、学校や企業との連携も図っていく。



栗原市
蓬田地区

地域の資源である棚田を活用して、地域の魅力を発信していくために農作業体験やフォトコンテストを開催する。その結果、地域内外から人が集まり、継続的なつながりづくりができるような取り組みを行っていく。



栗原市
有壁地区

今年度より、新たに「有壁創生会」を立ち上げた。地域住民が楽しく和やかに過ごしていきけるような取り組みを行う。具体的には、地域のPR方法の確立やイベント開催などを行っていく。



大崎市
鬼首地区

鬼首神楽保存会の後継者育成と継承を目標として取り組みを行う。「鬼首神楽のサポーターを増やす」ことを目指し、新しい衣装づくりを行っていただくサポーターの募集を実施していく。



村田町
沼田地区

地域での七福神舞保存会の活動が少なくなっている。現状を少しでも改善し、地域を盛り上げ、住民が自分の地域の魅力に改めて気付くような取り組みを検討し、実施していく。



吉澤 武志(よしざわ たけし)氏

一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会 事務局長
援農ボランティア、地域の歴史再発見、太陽光電力事業、鳥獣害対策、災害時救援体制づくり、地域の商店再興、地域づくり拠点づくりなど多岐にわたって住民の意志をくみ取り、住民主体の事業推進の足掛かりを作っている

話題提供 『丸森町筆甫地区の限界集落 住民自治チャレンジ』
廃村の危機に瀕していた丸森町筆甫地区。この地における集落づくりの経験談をもとに、(一社)筆甫地区振興連絡協議会事務局長 吉澤氏より話題提供をいただきました。

講演では、地区内の課題抽出にあたり住民にどんなニーズがあるのか、それを受けどんな取り組みが行われているのか、その根幹となる考え方も含めお話をいただきました。たくさんの試行錯誤、チャレンジの末、活気を取り戻した先行地区の事例に触れ、参加された各地域の皆さんからは「参考になった」とのご感想をいただきました。

地域づくり座談会



座談会は、テーマに沿って吉澤氏と各地域代表者との意見交換形式で行いました。前段の筆甫地区の事例を受け、出席者のみなさんは自身の地域における課題、その解決にむけた具体的方策等をどう展開しているか、活発な議論が行われました。

ここでは、各地域に共通した課題について報告致します。

①情報発信またはより多くの住民の参加促進

各地域、多くの住民参加を促すため情報発信が重要だと感じており、またその方法が課題だとの共通認識でした。既に各地域で実践されている方法は、広報誌やHP、SNSでの情報発信ですが、独自にカレンダーを制作し全戸配布を行った地区もありました。

吉澤氏からは、筆甫出身者への広報誌送付(年間購読料3千円)を行っているとの事例紹介がありました。その情報発信の際は、単なる報告でなく、地区の状況を共有し、協力を求める内容にするよう工夫しているとのことでした。また情報発信は、まずは地域内、次に地域外へと展開し、徐々に外部からの評価を得ていくこともポイントだのご助言いただきました。

②担い手(後継者)の育成

各地域共通の大きな課題は「担い手育成」でした。既に若い世代へのアプローチを行っている地域もあり、困りごとの共有、協力要請を少しずつ進めている、援農ボランティアの継続参加を図っている、住民アンケートを実施し、情報を得たいと考えているとのことでした。

筆甫地区では、女性や子どもたちの声を吸い上げるアンケートを実施しているとの事例提供をいただきました。若い世代への勧誘は、世代や関係性を見極め「誰が誘うか」を意識すると人材を集めやすいとのアドバイスもいただきました。

今回ご参加いただいた皆様におかれましては、遠くまでご足労いただき、誠にありがとうございました。年度末にも合同研修会の開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、多くの皆様に参加いただけることを願います。